



# 効果的な図上訓練の在り方

—図上訓練で現実的な対策を考案しましょう—

2017年6月

軍事戦略評論家（軍事・情報戦略研究所長） 西村金一

## 1. テロ対策を考案、現実的な対策を考案するには？

- 「軍事作戦と同様の分析手法」が必要
- より現実的かつ具体案を導き出すために  
「敵情見積（敵の研究）」（考え得る最大限の脅威まで見積もる）  
「図上訓練（研究）」を実施すること
- どんなことを仕掛けてくるのかを知る（敵情見積—敵の研究）
  - ・新たなテロの脅威を認識する
  - ・「過去のテロ事案」を分析
  - ・その結果の「反省と教訓」を参考に

### （1）新たなテロの脅威は

テロの様相が変化している

- 戦場で起きていることが、平和な都市で起きている
- 今風に言うと、戦場場面を切り取って、
  - ・平和的な都市にコピペしているようなもの
  - ・そこで、兵士達が、無防備な人々に乱射している
- ISは、高度な軍事戦略を駆使している

### （2）過去のテロ事案問題点と教訓

—参考になる5つ事案の分析—

- ① 1996年、在ペルー日本大使公邸占拠
- ② 2013年、アルジェリア天然ガス施設襲撃
- ③ 2015年、パリ「シャルリー・エブド」社襲撃
- ④ チュニジア襲撃事件(自分の命を守るには)
- ⑤ フランス同時多発テロ + バングラ、レストラン襲撃

### （3）今後予想されるISの新たな脅威は

ISが保有する兵器の中から、日本に持ち込める兵器を使用すると

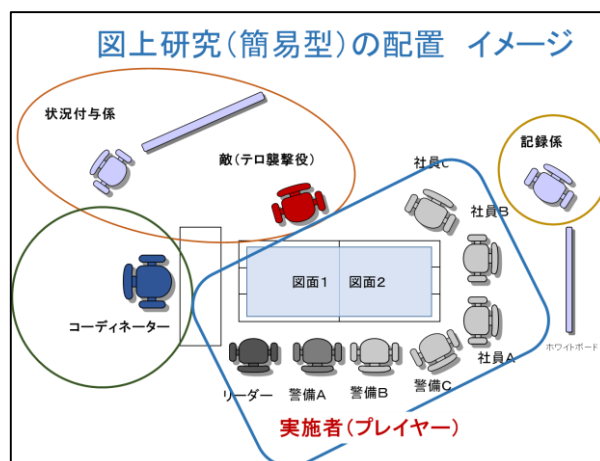
- 数個戦闘チームを編成

- 対戦車ロケット、対戦車ミサイルを使用したテロ
- 携帯地対空ミサイルによるテロ
- 化学剤（サリン、VX ガス、マスタードガス）散布によるテロ

## 2. 図上訓練（研究）について

- 現代風な図上研究（訓練）イメージ
- 図上研究（簡易型）の配置
- なぜ、図上研究がいいのか
- 図上研究のイメージは
- 図上研究実施手順
- 状況判断の練成要領
- 図上訓練の効果
- **学校の現場では（最近始めました）**
  - ・ どんなどころで
  - ・ 実施した感想は

### パワーポイント例



### 状況判断の練成要領

- ① テロ襲撃の動きを地図上で示しながら、
- ② 重要な判断が必要な時に、  
リーダーと担当者に、「どうするか」といった対処方法を質問し、回答を受ける
- ③ 一旦状況を止め、質問や提案を受ける
- ④ 担当者・責任者等に  
「何を実施すべきだったのか」  
「どのような判断事項があったのか」  
「他にもあったのか」、「いくつあったのか」  
「何を優先して決めたのか（決めるべきか）」  
「悩んだことは何か」について質問する
- ⑤ 実施者全員で、「この場合にはどうすべきだったのか」  
について議論して、答えを導き出す
- ⑥ 最後に立案者の一案を示す

### 3. 北朝鮮軍の南侵シナリオ、対策も

- 戦力分析
  - ・南北軍兵力を数量で単純比較すると
  - ・近代兵器の量だけを比較すると（北朝鮮軍と米韓軍）
- 戦いの様相は
  - ・空対空ミサイルを使用したドックファイト
  - ・艦対艦ミサイルの攻撃要領
  - ・地上軍の配備は
  - ・ソウルへの砲撃は
  - ・特殊部隊の潜入要領は
  - ・北朝鮮軍総攻撃のシナリオイメージは
  - ・北朝鮮軍によるソウル侵攻のイメージは
- 北朝鮮軍の行動と対応は
- 北朝鮮図上訓練のシナリオは

#### パワーポイント例

##### 北朝鮮軍の行動と対応（シナリオ研究で行うこと）

全般情勢	北朝鮮軍の行動	韓国軍の行動	〇〇の対応
緊張状態			
攻撃準備段階			
攻撃開始段階			
DMZ～ソウルまで			

どんな兆候が出れば、どこまで避難するか？ 決めること

#### まとめ

#### 参考文献

- 『自衛隊はISの脅威とどう戦うのか』-イスラム過激派の軍事的脅威にどう立ち向かうか
- 『自衛隊は、尖閣紛争をどう戦うか』